

第3次千葉市消費生活基本計画の項目評価の説明について

1 評価

個別施策担当課が作成した平成30年度事業実績について、次の評価基準に基づき施策ごとに自己評価を行います。

評価	評価基準
a	計画どおりに達成できた
	・数値目標がある場合は、目標値の100%以上を達成した場合 ・数値目標がない場合は、指標等において前年度実績以上の成果を示した場合
b	実施し、ほぼ計画通りに達成できた
	・数値目標がある場合は、目標値の100%未満～80%以上を達成した場合 ・数値目標がない場合は、指標等において前年度実績の100%未満～80%以上を達成した場合
c	実施したが、計画に大きく及ばなかった
	・数値目標がある場合は、目標値の80%未満 ・数値目標がない場合は、指標等において前年度実績の80%未満
d	実施しなかった

※1 対象となる事象が発生した場合に限り対応する施策において、「該当するものが発生しなかったため、結果として実施しなかったもの」については、「d」ではなく、「-」とする。

※2 実施予定と異なる取り組みを実施した場合については、その実績も勘案し、総合的に評価を行う。

2 項目評価【参考】

個別施策担当課が作成した評価基準を基に、各項目の評価の平均を算定しています。

aを3点、bを2点、cを1点、dを0点とし、各項目の平均点を下記のように表示しています。

【評価基準】

A：順調に取り組まれた。（項目の評価基準の平均点が2.5点以上）

B：概ね取り組まれた。

（項目の評価基準の平均点が1.5点以上2.5点未満）

C：概ね取り組まれたが、さらに積極的な取り組みが必要である。

（項目の評価基準の平均点が0.5点以上1.5未満）

D：取り組みが不足した。（0.5点未満）

※基本的方向1～3は課題ごと、基本的方向4は分類ごとに表示しています。

項目評価欄について

第3次千葉市消費生活基本計画 平成30年度事業実績

基本的方向4 自ら考え行動する自立した消費者の育成(消費者教育推進計画)
課題2 自立した消費者になるための教育

基本的方向4 自ら考え行動する自立した消費者の育成(消費者教育推進計画)
課題2 自立した消費者になるための教育
(分類2)情報とメディアに関する教育の促進

番号	所管課	施策の内容	平成30年度実施予定	平成30年度事業実績	指標・数値目標及び平成29年度事業実績	評価	今後の課題	項目評価
72	消費生活センター	インターネットに関連する消費者トラブルとその対処法や機器の適切な利用等に関する講座を開催します。 主な関係先：－ 対象年齢期：高校生期、成人期	多発するインターネット関連の消費者トラブルに対応するため、関連する最新の悪質商法について、継続して講座等で紹介し、また機器の利用に関する主催講座を開催する。	インターネットに関連した講座・啓発を実施した。 ○実施回数・受講者数 ・スマートフォンの操作に関する講座(シニア対象)(1回20人) ※併せて「インターネット等の利用をめぐる悪質商法とその対処法」に関する講座を実施 ・巡回講座等において、ワンクリック詐欺等、インターネットに関連する悪質商法について説明した。 ・その他、消費者被害注意報や関東甲信越ブロック悪質商法被害防止キャンペーンリーフレット等で、インターネットに関連する消費者トラブルを紹介した。 ・小・中・高校等を対象とした情報モラルに関するDVDの貸出(依頼がなかったため実績なし)	インターネットに関連した講座・啓発を実施した。 ○実施回数・受講者数 ・小・中・高校等を対象とした情報モラルに関するDVDの貸出(4校及び教育センター) ・スマートフォンの操作に関する講座(シニア対象)(2回39人) ※併せて「インターネット等の利用をめぐる悪質商法とその対処法」に関する講座を実施 ・巡回講座等において、ワンクリック詐欺等、インターネットに関連する悪質商法について説明した。 その他、消費者被害注意報や関東甲信越ブロック悪質商法被害防止キャンペーンリーフレット等で、インターネットに関連する消費者トラブルを紹介した。	C	自己評価 (a～d) ・貸出対象DVDの学校等への周知が必要である。	B 10/5 2.0点
73	高齢福祉課	シルバー人材センターにおいて、高齢者が講師となりパソコンの活用に関する講座を開催します。 主な関係先：(公社)シルバー人材センター 対象年齢期：成人期	シルバー人材センターにおいて、高齢者が講師となりパソコンの活用に関する講座を開催する。	○実施回数・受講者数 ・実施回数(821回) ・受講者数(755人)	○実施回数・受講者数 ・実施回数(796回) ・受講者数(655人)	a		

☆項目評価欄の表示について

項目評価欄の表示は、上から

『項目評価』、『評価点数合計／項目数』、『評価点数』となります。